

	<table border="1"> <tr> <td>団体名</td> <td>特定非営利活動法人 ブレーメンの星数支援センター</td> </tr> <tr> <td>代表者名</td> <td>理事長 國生 美南子</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>木更津市富士見1-2-1 アクア木更津ビル8階</td> </tr> </table>	団体名	特定非営利活動法人 ブレーメンの星数支援センター	代表者名	理事長 國生 美南子	所在地	木更津市富士見1-2-1 アクア木更津ビル8階
団体名	特定非営利活動法人 ブレーメンの星数支援センター						
代表者名	理事長 國生 美南子						
所在地	木更津市富士見1-2-1 アクア木更津ビル8階						
1 事業名	「ふくしな社会起業家・地域活動家の集い～地域で暮らし続けるために、あなたに合わせた支援を星の数ほど！～」						
2 事業費	1,016,930円（このうち県の支出500,000円）						
3 事業期間	平成21年8月～12月31日						
4 事業の目的	<p>高齢者や障害者の方々が、安心した地域生活を送るためには、公的制度の枠を超えたり、公的福祉サービスの隙間を埋めていくような新たな地域福祉サービスの創出が急務となっています。</p> <p>この想いと必要性は、地域福祉に関わる多くの事業者や個人が感じているにも関わらず、実際のサービス提供としては、なかなか広がりを見せていないのが現状です。そこで、この想いに共感する事業者や個人と連携をし、一同に集い、今後の方向性や手法を議論することで、考え方を広く県内に発信すると同時に、新たな地域福祉サービスの担い手を増やすきっかけにすべく、今回の集い（フォーラム）を開催したいと考えました。</p>						
5 事業概要	<p>公的制度のある・なしに関わらず、暮らしの中で困った時に、1人1人の暮らしに合わせた地域福祉サービス（たすけあい活動や高齢者・障害者への生活支援サービスなど）を提供する事業者や個人を1人でも多く増やすための集い（フォーラム）を開催しました。</p>						
6 事業経過	<p>※「誰が」「誰と」「誰（何）を対象に」「いつ」「どこで」「何をしたのか」ということを、わかりやすく簡潔に記載してください。</p> <p>上述の目的や目標に基づき、下記の内容の、集い（フォーラム）を開催しました。</p> <p>○日時：2009年9月27日（日）10:00～16:30</p> <p>○場所：千葉県労働者福祉センター・大ホール</p> <p>○対象：パーソナルアシスタントサービス(個別支援)に関心がある方</p> <p>○内容：・特別講演「地域で共に暮らす」 ・フリートーク「ちばの福祉現場・おもしろ最前線」～若者が語るパーソナルアシスタントサービスの魅力 ・ランチミーティング&大交流会 ・基調講演「地域福祉型サービスの今後のあり方」 ・パネルディスカッション「制度のある・なしに関わらず、包括的に支援する福祉サービスを目指して」</p>						

	<p>○主催：特定非営利活動法人ブレイメンの星数支援センター ○後援：千葉県、千葉県たすけあい協議会 千葉県地域密着・小規模ケア推進協議会 中核地域生活支援センター連絡協議会 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会</p> <p>具体的な進め方は、下記のとおりでした。</p> <p>8月上旬 プログラム及び会場確定・講師の選定・講師依頼 8月中旬 チラシ作成：広報開始（郵送・メール・手配りなど）</p> <p>9月 参加者集め、当日運営ボランティア集め、講師との打ち合わせ、会場との打ち合わせ、当日マニュアル・配布資料づくり</p> <p>9月27日 本番（集いの開催） 12月 精算などの事後処理</p>
<p>7 事業成果</p>	<p>■具体的な成果</p> <p>※具体的にどのような成果が出たのか、当初の目標に照らしてどの程度達成できたのかを記載してください。</p> <p>●福祉分野における社会起業家・地域活動家という新しい働き方のスタイルの共有</p> <p>周知期間が短かったために、当初の目標人数には達しませんでした。アンケートへの賛否両論の記入も多くあるなど、県内でも意識の高い方々が集まってくださったことで、総合的には非常に有意義なフォーラムでした。</p> <p>アンケートの満足度を見る限り、最初の阪井氏の講演は分かりやすさやテンポの良さなどから最も評価が高いものでした。一方で、山下氏の講演は、学問・理論的な内容だったこともあり、満足度は低かったのですが、これは予想の範囲内で、それであってもこの講義を組み込むことで、その後のパネルディスカッションにスムーズにつながられたなど、福祉分野における社会起業家や地域活動家という新しい働き方のスタイルを共有するという目標に対して、一定の成果はあったと考えています。</p> <p>●福祉の個別支援や個別ケアを実践する人や目指す人（社会起業家）のネットワークづくり</p> <p>昼食時のランチミーティング&大交流会は、初めての試みでしたが、多くのテーブルで議論が活発にされていて、起業家同士が繋がれたり、同じ地域内での新たな出会いが生まれたり、とアンケートでも大半の方に好評価を頂くことができました。</p>

	<p>●福祉の地域活動に取り組む団体や個人（地域活動家）の活動を拾いあげ、応援する仕組みづくり</p> <p>携帯電話のメールアドレスを登録して頂いたため、今後の講座やセミナーの案内をダイレクトにできる仕組みを作ることができました。</p>
<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p>■直面した課題</p> <p>※この事業の過程で直面した課題・問題を記載してください。</p> <p>集客の面が一番苦労しました。福祉関係のセミナーが同日に県内で複数開催されるなど、様々な理由が考えられますが、フォーラムの内容が良いことは大前提で、そのうえで、これまでの広報手段以上のものを考えないと厳しいと痛感しています。</p> <p>■平成22年度以降の事業展開</p> <p>※この事業は21年度の県の補助事業としては完了しますが、どのように事業活動を展開していくのかを記載してください。</p> <p>今後は今回の反省点を踏まえながら、より強固なネットワークづくりができるような仕組みに育てていくために、引き続きの情報発信と、関連セミナーや講座の開催を企画運営していきます。</p>
<p>9 補助金事業の感想等</p>	<p>※NPO活動費補助金を行った感想や、応募についてのアドバイスなどがあれば記載してください。</p>